

ホームページ開設による 在宅医療連携拠点活動のオープンソース化

○川越 正平1)、友松 郁子1)、中里 和弘1)2)、山崎浩二1)
あおぞら診療所1)、東京都健康長寿医療センター研究所2)

【背景】

- 平成23年度に開始された国のモデル事業である在宅医療連携拠点事業は、厚生労働省から実施手順書が示されているものの大まかな枠組みの提示に止まっている。
- 実際に拠点としてどのような活動を地域で展開していくべきかについての詳細はいまだ不明瞭である。
- 平成24年度には採択機関が全国105箇所に拡大されたが、拠点の側もどのような活動を展開しているのかについての情報発信は今のところ十分とは言えない。

【目的】

- 拠点事業を通じた活動成果を自地域へ報告し、還元する。
- 在宅医療連携拠点事業に取り組む多地域の従事者が当院が作成した資料や手順書等を有効に活用できるようにする。

【方法】

- 平成23年度の受託事業者としての活動実績をもとに5か月間かけて準備作業を進め、2012年8月に拠点活動を紹介するHPを開設した。
(URL: <http://aozora-clinic.or.jp>)
- サーバー管理会社のアクセス解析ツールを用いて、HPへのアクセス状況やファイルのダウンロード状況について検討した。

【結果】

ホームページへのアクセス状況
対象期間：2012年8月24日～2013年3月21日

合計訪問者数	15,122
ページヒット数	47,307
ファイルヒット数	543,596

ファイルのダウンロード状況

順位	ファイル名	回数
1	マニュアル「訪問薬剤管理指導 はじめの一步」	1,586
2	第14回日本在宅医学会大会ワークショップ 発表スライド	425
3	薬局連絡会総会 講義スライド(2012)「在宅医療における薬剤師の現状とこれから」	399
4	平成23年度成果報告会 発表スライド	387
5	第8回多職種合同カンファレンスの案内	379
6	薬局連絡会総会 発表スライド(2012)「在宅患者の処方箋に遅滞なく対応する」	358
7	(論文)川越正平(2011) 日本医事新報 No.4572: p.46-51「在宅医療 はじめの一步：在宅医療を支える地域の資源」	307
8	第1回杉浦地域医療振興賞 受賞式発表スライド(2012)「歯科医師等と在宅医療連携拠点が構築する医科歯科連携促進」	290
9	ケアマネタイム(訪問診療およびかかりつけ患者の臨時往診の対応可能な病院・医院一覧)	272
10	診診連携システムの類型化 スライド	265

【考察】

- HPを開設したところ、数多くのファイルが閲覧、ダウンロードされ、その関心は薬剤師活動、事業概要、多職種合同カンファレンス、地域資源、歯科連携活動、ケアマネタイム、診診連携など、多彩な領域に広がっていた。
- 数多くの拠点の活動内容を早い時点で具体的に把握することによって汎用性の高い手法や活動指針を見出すことは**拠点活動のオープンソース化**と呼びうる効果的な戦略と言える。
- 地域包括ケアという根幹政策に盛り込むべき内容は、地域を俯瞰する目をもった実践者の活動から見出られるのであり、各地の活動のオープンソース化が有力な武器になることを期待する。

当院HPトップページ

拠点事業トップページ

活動実施資料一覧ページ

